

令和〇年度 津市中小企業振興事業補助金（生産性向上設備支援事業）提案書

令和〇年〇月〇〇日

(あて先) 津市長

所在地 津市〇〇町〇〇〇〇番地

申請者氏名 (名称及び代表者氏名)

〇〇株式会社 代表取締役 〇〇 〇〇 印

電話番号 〇〇〇-〇〇〇〇

E-mail 〇〇〇〇@〇〇.△△

法人→代表者印 (会社実印)

個人→認め印

1. 事業所概要

事業所名	〇〇株式会社			
所在地	津市〇〇町〇〇〇〇番地			
代表者氏名	代表取締役 〇〇 〇〇			
資本金	〇〇〇〇円			
従業員数	〇〇名			
貴社の事業内容	〇〇の製造、販売			
連絡担当者	役 職	〇〇課長	氏 名	△△ △△
	電 話	〇〇〇-〇〇〇〇		
	F A X	〇〇〇-〇〇〇〇		
	E - m a i l	〇〇〇〇@〇〇.△△		
	ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.xxx.xxxx		
備考				

2. 事業内容等

事業名	〇〇〇〇による生産性の向上		
実施期間	令和〇年〇月 ～ 令和〇年〇月		
事業経費 (例)	全体経費 (税込)	2,475 千円	消費税を含めた経費
	補助事業に要する経費	2,250 千円	消費税を含めない経費
	補助金交付希望額	1,000 千円	
事業の実施場所 設備の設置場所	津市〇〇町〇〇〇〇番地		消費税を含めない経費の 3分の2 (上限100万円) ※千円未満は切り捨て
事業具体的な内容	<p>① 生産施設における課題</p> <p>※記入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自社やその事業、業界についての説明や直近数年の環境動向を記述。 ・ 社会・市場からの要求や課題について記述。 (新型コロナウイルス感染症による経営上の影響も含む) ・ 事業実施のきっかけとなった現在の生産施設における課題について記述。 (生産施設の実績と現在の技術的な課題、現生産施設での人的な課題等、データ・数値も織り込んでください。図・写真・グラフの記載も可です。) 		
	<p>② 事業実施方法</p> <p>※記入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事業実施に際しての具体的方法として、 現状の工程・技術・設備構成などの説明と、導入する設備の概要・構造や、課題解決につながる根拠である機能・特長を記述。 (図・写真・グラフの記載も可です。) ・ 実施スケジュールとして、 設備選定・設備導入・試運転・試験生産もしくは本生産・効果検証・報告書提出 等の項目を挙げて、箇条書きもしくはガントチャート等で記述。 ・ 実施体制として、 事業推進責任、事業実施等の担当組織や担当者の構成について記述。 		
	<p>③ 事業効果</p> <p>※記入のポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予測される省力化、合理化の効果 (生産工数削減効果、作業の平準 		

	<p>化効果、生産リードタイム短縮効果など）、顧客との取引増、内製率向上などの効果についての目標を記述。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・導入前と導入後で課題がどのように改善されるか、時間や金額などの数値目標を示すこと。導入後5年間の追跡調査（状況報告）が必要であるため、継続して調査・報告できる目標であること。（図・グラフの記載も可です。） ・作業環境改善、安全性の向上などの副次的効果の他、地域・業界に与える好影響があれば、これらを記述。 ・以上の結果が、企業業績にどう結び付き、売上や利益等が、導入前と導入後でどのように改善されるかを記述。
<p>他の補助金の採択・申請状況</p>	<p>他の補助金の受給・申請について <input checked="" type="radio"/> 有り・無し</p> <p>（有り・無し どちらかに○をつけてください。）</p> <p>*他の補助金で採択された同一の事業については、提案できません。</p> <hr/> <p>有りの場合は、他に申請している補助金制度の名称を記載</p> <p>令和4年●月●日申請</p> <p>（ 三重県●●補助金 ）</p>

3. 補助事業収支予算書 (例)

①経費配分内訳

(単位：円)

経費区分	経費の項目	年度の 補助事業に 要する経費	経費内容
① 機械工具費	〇〇〇	2,000,000	
	同 消費税	200,000	
	小 計	2,200,000	
② 外注加工費	〇〇〇	250,000	
	同 消費税	25,000	
	小 計	275,000	
③ 技術導入提携 費			
	小 計		
	合 計	2,475,000	

① 資金調達の内訳

(単位：円)

経費区分	補助事業に要する経費	資金の調達先
自己資金	1,475,000	
借入金		
補助金	1,000,000	
その他		
合 計	2,475,000	

全体経費から消費税を
抜いた額の3分の2
(上限100万円)
※千円未満は切り捨て

提案書作成上の注意点

- ・審査は外部有識者により構成される採択審査委員会において審査されますが、審査員は専門技術に詳しいとは限りません。業界の専門用語は可能な限り減らし、どうしても必要な用語は、注釈を追加してください。完成後は、できれば専門知識のない方に読んでもらうことをお勧めします。
- ・技術内容を言葉で説明するには、高度な文章力が必要です。可能な限り図や写真を挿入して、視覚的に内容を説明するようにしてください。
- ・長い文章は、意味を読み違えたり、作成者の意図が伝わらなかったりします。学会誌などに掲載される学術論文は参考になります。
- ・内容は理論的に整合が取れるように注意してください。